

# 徳地森の子くらぶ③ ～冬の森を楽しもう～

〈令和元年12月21日（土）～22日（日）〉

## 【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者とその保護者の自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】52名（男子22名，女子30名），法人ボランティア10名

## 【プログラムの内容】

### 1日目

- 11:10 はじまりの会
- 11:30 みんなで仲良くなろう
- 13:15 冬の森を楽しもう
- 19:00 天体観察
- 20:15 入浴
- 21:00 就寝

### 2日目

- 9:30 野外炊飯（焼きそば）
- 14:00 さよならの会
- 14:15 解散

## 「はじまりの会」「みんなで仲良くなろう」



最初は不安な様子だったが、楽しいゲームを通して、子供もボランティアも緊張がほぐれていき、次第に笑顔が出るようになっていった。また、班で活動する際に大切にしたいことを話し合い、紙にまとめた。

## 「冬森を楽しもう」



森の案内人の方々に協力いただき、自然の家周辺の森を班ごとに楽しく散策した。所々には自然に興味を持てるクイズがあり、班で解いていった。静かに空を見つめたり、体を動かしたりして寒い中でも、自然に親しむことができた。

最後には秘密の書を明らかにして、みんなでマシュマロを美味しく食べた。



## 「天体観察」



あいにくの天候だったが、外でスクリーンに冬の星空を映した。時に晴れ間が見えて、星が見えた時は、大歓声が起こった。

## 「焼きそばづくり」



班のみんなで協力して、美味しい焼きそばを作った。片付けも積極的に協力して最後までやり遂げた。

### 【参加者の声】

「チームワークがよくなった」「フユイチゴを食べられて嬉しかった」「自然が綺麗だった」「いっぱい友達ができた」「いろんな経験ができた」などの感想があった。

### 【成果】

森の案内人の方々の手厚い支援で、子供たちが楽しみながら自然に触れ合う機会を提供することができた。森の案内人の方々の「楽しく自然散策を行うためのノウハウ」を知ることができた。

### 【課題】

今回得たノウハウを、職員やボランティアで活用できるようにプログラムを企画していく。